

灌頂之事

一、多の日病うくれば半（奇数）の日はを治す

二、との日病うくれば、ちよう（偶数）の日はを治す

筋瘡両方之内

瘡之吉悪事

一、瘡右にても左にても一方に

あるは、やすかる也、右の前

えだのふしに出、おなじく、左

のふし一やうにいでたるは

大切なり

しりえだも、かくのごとく惣し

て四足にかぎらず、いづくにて

も右左同前なるはわろし

一、寒の瘡はうん（温）の薬にて是を

治す

一、熱の瘡はかんの薬にて是を

治す、おのおのくでん（口伝）あり

桑嶋新右衛門尉 仲綱

鈴木主膳介

道重

水沢清五郎

文禄四乙未 二月五日 実秀

青柳与六郎殿

進覧